

ぼたん

令和7年7月31日発行

北海道大谷室蘭高等学校 PTA広報部 Vol.65

写真部 2年C組 安部 愛來 撮影



学校祭テーマ

今しかできない「青春」を

7月15～17日の3日間、～今しかできない「青春」を～というテーマの下、学校祭が盛大に開催されました。生徒会企画の「ティスティングゲーム」「ワードクイズ」は、どの出場生徒も難問に頭を抱えながら頑張っていました。

また、今回の「動画コンテスト」は、ドラマの1シーンを再現するというテーマに取り組み、生徒による予想外のユニークな再現が、笑いを集めていました。また、教職員発表では普段見られない先生方のパフォーマンスに全校生徒が驚愕！今回は動画の他、先生方によるバンド演奏も披露されました。

保護者の方々にも多数ご来場いただき、PTA模擬店メニューも大好評！思い出深い学校祭となりました。



今年の司会者 3A越後屋くん、佐々木くん、3B富山くん、3C小野寺くん。3日間学校祭を盛り上げてくれました。



クラス発表ファイナル進出クラス(3A)

全4クラスでとてもハイレベルな戦いでした。



クラス発表ファイナル進出クラス(3B)



クラス発表ファイナル進出クラス(3C)



クラス発表ファイナル進出クラス(3D)



クラス発表予選(1A)

どのクラスも演出に工夫を凝らし、クラスの団結を表現していました。



クラス発表予選(1B)



クラス発表予選(1C)



クラス発表予選(1D)



クラス発表予選(2A)



クラス発表予選(2B)



クラス発表予選(2C)



クラス発表予選(2D)



文化部展示は講堂で。文化部もこんなに頑張っています。

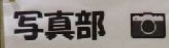


インターアクト部 展示



美術部 展示



[illegible]

書道部 展示



仮装コンテストのテーマはジブリ。となりのトトロ、崖の上のポニョ、天空の城ラピュタ、千と千尋の神隠し、魔女の宅急便など、懐かしいジブリ作品を現代の生徒が演じました。



吹奏楽部演奏。模擬店の食事を取りながら鑑賞しました。



1 年貼り絵。装飾コンテストで審査されました。



クラス対抗結果

装飾コンテスト（各学年 1 位）

1 年（貼り絵） 1A

2 年（アミューズメント） 2D

3 年（模擬店） 3C

仮装

1 位 3A

2 位 2B

3 位 1C

生徒会企画

1 位 2C

2 位 1B

3 位 3D

クラス発表

1 位 3A

2 位 3D

3 位 3B

4 位 3C

総合結果

1位 3A

2位 3D

3位 3B

4位 3C



教職員紹介

校長 竹本 将人



教頭 澤田 満



事務長 庭田 尋生



通信制教頭 南條 式史



1 学 年

【担 任】 前列左から

A組 尾崎 雄平（理科）

C組 米田 萌花（英語）

【副担任】 後列左から

石井 一矢（国語）

及川 善民（保健体育）

B組 岡田 妃可（家庭・食育・数学）

D組 山本 翔誠（数学・探究）

法貴 朋美（養護）

本間 清晃（学年主任・国語）



2 学 年

【担 任】 前列左から

A組 宮崎 美智子 (国語)

C組 小山内 凱人 (保健体育)

【副担任】 後列左から

鈴木 勝也 (地歴)

伊藤 智 (宗教・国語)

B組 及川 真行 (保健体育)

D組 宗本 紗季 (理科)

越後屋 亨 (学年主任・保健体育)



3 学 年

【担 任】前列左から

A組 江戸 勇介（学年主任・数学）

C組 斎藤 里帆（理科）

【副担任】後列左から

三浦 寛史（保健体育）

本間 一好（国語）

B組 坂本 亘（公民・情報）

D組 中居 千文（理科）

鈴木 右享（数学・探究）

宮武 瑞恵（地歴・公民）



講師



竹森 伸幸
(地歴)



ジュディ・オブライエン
(英語)



三上 敏浩
(情報)



佐藤 孝司
(英語)



吉田 則彦
(数学)



坂本 正太郎
(美術)



山本 佑奈
(英語)

講 師



岸田 理
(宗教)



水野 博之
(探究)



池田 智道
(宗教)



藤田 真理子
(探究)

事務職員

事務長	庭田 尋生
職 員	中野 百合
	佐藤 日出子
	竹駒 拓斗
校務・寮監	本多 大聖
	佐藤 祐行
校 務	高橋 晴美
寮 監	三澤 絢子

外部指導者

女子バレーボール部コーチ	廣瀬 幸子
	和泉 学
ソフトテニス部	内海 修

よろしくお願いします。

令和7年度 父母と先生の会 会長あいさつ



父母と先生の会 会長 大家 利基

保護者の皆様におかれましては日頃より PTA 活動に対し多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。7月15日(火)～17日(木)に行われました、学校祭におかれましては、生徒一人一人が充実し、楽しい学校生活を送っている様子が見てとれました。また、学校祭2日目・3日目に実施された PTA バザーについても、たくさんの保護者の方にお手伝いをいただき、無事終了することができまして、感謝申し上げます。

今後も PTA として生徒一人一人が充実した学校生活を送れるよう出来る限りの活動を行ってまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度 父母と先生の会新役員

顧問	竹 本 将 人	学校長	教養部長	吉 田 愛 未	2 C	生活部長	白 濱 厚 子	2 D
会長	大 家 利 基	2 A	副部長	鳴 海 綾 子	3 C	副部長	富 山 香 奈	3 B
副会長	澤 田 満	教頭		宮 武 瑞 恵	教員		鈴 木 勝 也	教員
	富 樫 昌 代	2 B	部員	大 越 陽 子	3 A		森 田 めぐみ	3 B
	仲 川 拓 朗	1 A		辻 充 代	3 C		畠 山 麻衣子	2 D
	中 川 英 子	1 D		小 泉 真規子	2 B		津 本 志都華	1 A
広報部長	岡 垣 里 美	3 D		坂 本 志 布	2 D		月 折 優 好	1 B
副部長	橋 本 祐 介	2 D		馬 場 裕 貴	1 D		林 優 佳	1 B
	中 居 千 文	教員		坂 本 瑠 美	1 B		木 村 隆 寛	1 C
部員	木 村 明 美	3 A		本 間 清 晃	教員		寺 谷 友 重	1 C
	高 瀬 健 治	3 C	監査	越後屋 清 子	3 A		工 藤 恵	1 C
	舟 迫 さおり	3 D		丹 羽 真由美	2 B		千 葉 真 希	1 D
	石 川 ひとみ	2 B	会計	庭 田 尋 生	事務長		小山内 凱 人	教員
	安 達 佳 奈	2 C		中 野 百 合	事務			
	小 松 朋 江	3 B		三 浦 寛 史	PTA事務局			
	中 村 絵里子	2 D		江 戸 勇 介	PTA事務局			
	加 瀬 美 子	2 D	事務局	三 浦 寛 史	PTA事務局			
	奈 良 公 美	1 A		江 戸 勇 介	PTA事務局			
	斎 藤 里 帆	教員						

花まつり

お釈迦様の誕生を祝う

4月30日（水）、今から2500年ほど前にお生まれになったお釈迦さまの誕生をお祝いする行事「花まつり」が、本校体育館にて行われました。

各クラスの代表および教職員、ご講師、来賓の皆様による灌仏、献花の後、ご法中の皆様の先導により、勤行が行われました。

休憩をはさみ、函館大谷高等学校 木戸口靖之先生による法話をいただきました。講題は、「考えてみませんか、自分のこと」というテーマでした。

木戸口先生は、「王舎城の悲劇」を法話のテキストとして、人間の心の弱さ、愚かさについて説かれました。人間は、身（しん）口（く）意（い）の三悪業を行うものであり、身は身体的行為（生き物を殺すなど）、口は言語的行為（嘘をつくなど）、意は意思的行為（怒り、恨み、嫌うなど）を表します。王舎城の悲劇は、まさにこの三業によるものでありましょう。だからこそ、私たち人間は、自分と他人を安易に比較せず、自分自身を見つめることが大切であり、宗教はそのような自分を見つめるための学びであることを教えていただきました。

※ 「王舎城の悲劇」とは、当時インドで最強を誇っていたマガダ国の王、頻婆娑羅（びんばしゃら）王が、子どもの阿闍世（あじゃせ）に殺されてしまう、仏教の歴史上最大の悲劇です。多くの経典に説かれる実話で、法話でもよく話がされます。世継ぎがなくて苦しんでいた頻婆娑羅(びんばしゃら)王と妃の韋提希夫人が、占い師に見てもらおうと、奥山の修行者が死ねば子どもが生まれるといいます。子ども欲しさのために2人が修行者を殺害すると、韋提希は懐妊しますが、子どもが怨みを懐いているのではないかと、子どもを剣の林に産み落として殺そうとします。ところがたまたま子どもは剣の間に落ちて助かり、育てられることになりました。その子どもが阿闍世です。やがて阿闍世は凶暴な性格に育ち、父を殺し、母を牢に閉じ込めます。生み育てた我が子に牢屋に入れられて苦しんでいた韋提希が、牢屋の中でお釈迦様のご説法を聞き、地球上で初めて阿弥陀仏の本願に救われます。



高体連全道大会の結果

【女子バレーボール部】

《予選グループ戦》

0-2 札幌大谷

2-0 函館中部

《決勝トーナメント》

1回戦 2-1 恵庭南

2回戦 0-2 帯広南商業

【ヨット】

ILCA 6 級 尾形 桃那 優勝

【野球部】

準決勝 5-10 駒大苫小牧

【水泳部】

《男子》

100m自由形 原田 翔 予選出場

200m自由形 原田 翔 決勝8位

熊谷 篤 予選出場

100m背泳ぎ 鷺尾 欣太郎 決勝4位

100m平泳ぎ 村岡 侑 予選出場

200m平泳ぎ 村岡 侑 決勝5位

200mバタフライ 熊谷 篤 予選出場

200m個人メドレー 鷺尾 欣太郎 決勝4位

4×100mメドレーリレー 決勝2位

4×200mフリーリレー 決勝2位

4×100mフリー 決勝3位

《女子》

100m自由形 小松 望華 予選出場

200m自由形 小松 望華 予選出場

高体連全道大会の結果

【男子サッカー部】

2回戦	2-0	札幌第一
準々決勝	4-0	釧路北陽
準決勝	0-1	札幌大谷

【女子サッカー部】

2回戦	2-0	旭川実業
準決勝	3-0	北照
決勝	1-1(延長0-0 PK 7-6)	道文教大附属

【陸上部】

《男子》

200m	安藤 晴之介	予選出場
400m	安藤 晴之介	予選出場
400mH	奈須川 雅希	予選出場
	春木 悠和	予選出場
4×100mリレー		予選出場
4×400mリレー		予選出場

【陸上部】

《女子》

100m	蛭名 晴子	予選出場
	中村 柚杏	予選出場
200m	蛭名 晴子	準決勝出場
	佐々木 悠乃	予選出場
	中村 柚杏	予選出場
400m	佐々木 悠乃	準決勝出場
800m	工藤 琉奈	予選出場
1500m	工藤 琉奈	予選出場
100mH	伊藤 優那	準決勝出場
	船越 心夢	予選出場
400mH	伊藤 優那	予選出場
	船越 心夢	予選出場
やり投げ	千葉 日葵	決勝10位
走り高跳び	小林 ひより	予選出場
4×100mリレー		決勝7位
4×400mリレー		準決勝出場

高体連全道大会の結果

【バドミントン部】

《男子》

シングルス

山口侑音	1回戦	2-0	函館工業
	2回戦	1-2	札幌龍谷学園
丹羽驍	1回戦	0-2	札幌静修

ダブルス

丹羽・後藤	1回戦	2-0	札幌国際情報
	2回戦	2-0	函館工業
	準決勝	0-2	札幌龍谷学園
瀬戸・長尾	1回戦	1-2	函大有斗
山口・新藤	1回戦	2-0	札幌静修
	2回戦	0-2	札幌龍谷学園

団体

1回戦	3-0	恵庭
2回戦	3-1	函館工業
3回戦	3-2	北海
決勝	3-1	札幌静修
南北決勝	1-3	帯広大谷

《女子》

シングルス

朝岡紗知	1回戦	1-2	札幌静修
大野花恋	1回戦	2-1	函館中部
	2回戦	2-1	とわの森三愛
	3回戦	2-0	札幌静修
	準決勝	0-2	札幌北斗

ダブルス

朝岡・大野	1回戦	2-1	北星学園女子
	2回戦	0-2	とわの森三愛
浦野・大宮	1回戦	0-2	札幌北斗

団体

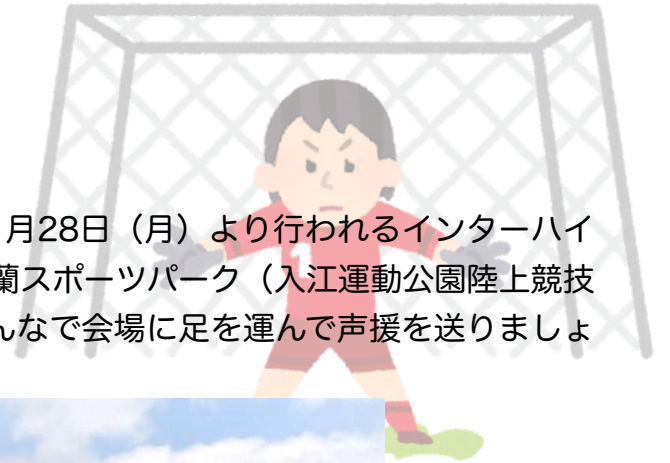
1回戦	2-3	札幌静修
-----	-----	------

※  : 全国出場する部活



全国大会出場!!

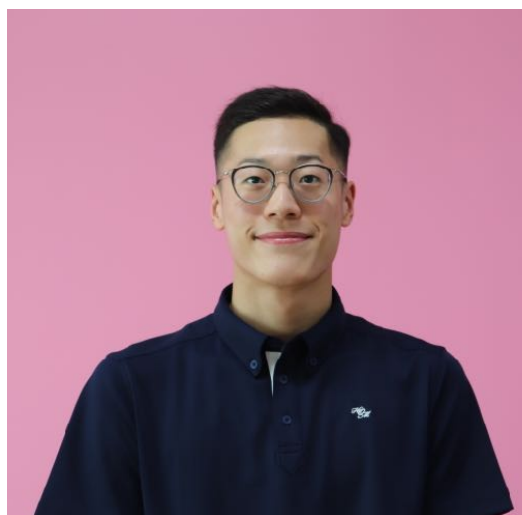
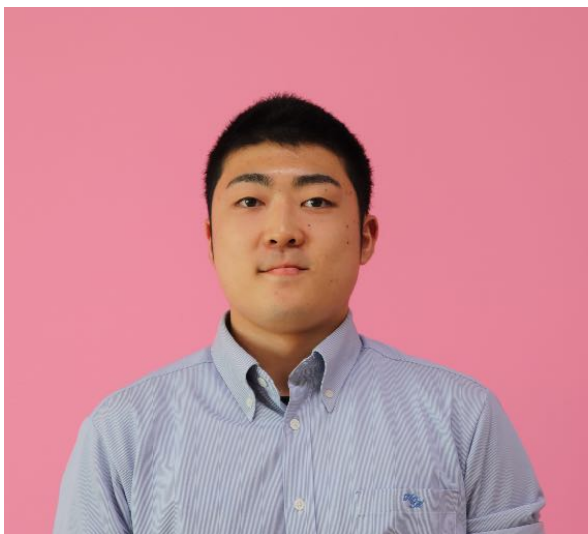
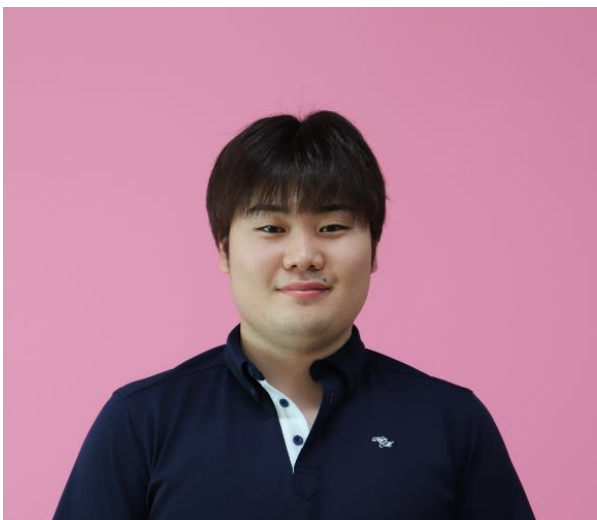
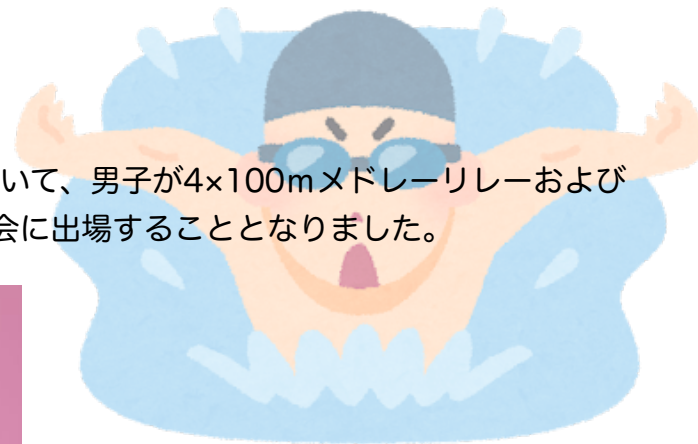
女子サッカー部は、6月18日に行われたインターハイ道予選決勝において見事優勝となり、7月28日（月）より行われるインターハイ全国大会に出場します。女子サッカーインターハイ全国大会は、今年度も地元室蘭市 日鋼室蘭スポーツパーク（入江運動公園陸上競技場）およびリーフラスフットボールパーク、伊達市 まなびの里サッカー場で行われます。みんなで会場に足を運んで声援を送りましょう！





全国大会出場!!

水泳部は、7月12日から野幌総合運動公園水泳プールで行われたインターハイ道予選において、男子が4×100mメドレーリレーおよび4×200mフリーリレーが2位、4×100mフリーリレーが3位となり、インターハイ全国大会に出場することとなりました。





全国大会出場!!



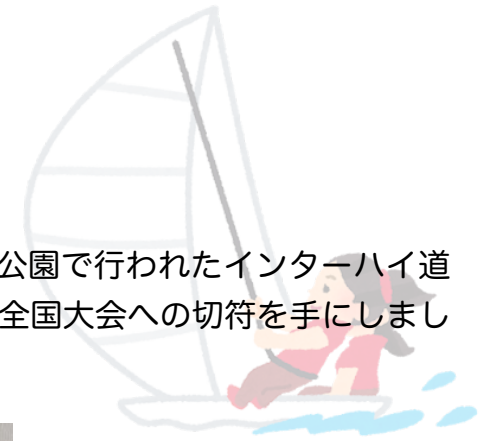
バドミントン部は、6月17日から苫小牧市総合体育館および苫小牧東高校体育館で行われた、インターハイ道予選において、男子団体が北海道優勝となり、8月4日（月）から山口県で行われるインターハイ全国大会の出場を決めました。
また、7月1日から北ガスアリーナ札幌46で行われた、第30回全国私立高等学校バドミントン大会北海道予選大会においても、男子が団体3位となり、8月26日（火）から福岡県で行われる全国大会の出場を決めました。





全国大会出場!!

特認技能奨学生としてヨット競技に取り組んでいる3年の尾形桃那さんは、6月6日から小樽市築港臨海公園で行われたインターハイ道予選においてILCA6級で優勝し、8月12日（火）より和歌山セーリングセンターで行われるインターハイ全国大会への切符を手に入れました。



編集後記

今年度の学校祭は、これまでの取り組みを大幅に見直し、これまでの取り組みを継続する一方、新企画を取り入れた斬新なものとなりました。そのような中、クラス発表は今までもこれからも本校の伝統的な学校祭の企画として、輝き続けていくと感じた3日間でした。

本校は開校以来部活動に重点をおいていますが、近年見られる多くの部活動の全国大会出場には目を見張るものがあります。全国大会出場を決めた生徒の皆さんは、高い素質や能力を持たせて生命を与えてくれた両親に感謝し、今日まで育ててくださったすべての皆様に感謝して大会に臨むことを心より念じています。

もちろん、全道大会、全国大会に進出がかなわず悔し涙を流した生徒の皆さんも多数います。大会に向けて懸命に努力した事実は、決して色褪せません。今までの努力を糧に、今後の学校生活を力強く歩んでほしいと思います。

本誌制作にあたり、ご協力くださいましたすべての皆様に、衷心よりお礼申し上げます。